

令和2年度 市史編さん事業報告

1. 委員会等の概要

(1) 市史編さん委員会の開催状況

開催日時・場所	議 題
第1回 令和2年8月20日（金） ※書面開催	1. 平成31年度事業報告について 2. 令和2年度事業計画について 3. 『新泊江市史 通史編』について 4. その他

※市史編さん委員会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、春先の開催を控え8月に書面開催とした。令和2年度は、『新泊江市史 通史編』の刊行に向けた作業に集中するため、他の刊行物の発行を予定しておらず、また『通史編』の構成・目次案ともに、前年度までに委員会の審議を経ており、事業の進捗状況の報告が主な議題となった。なお、当初は10月末の刊行を予定していたが、事情により刊行を年度末とすることについて委員会の了承を得た。

(2) 市史編集専門委員会の開催状況

※市史編集専門委員会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面では実施しなかったが、『新泊江市史 通史編』について、執筆者から提出された原稿の内容確認・校訂、編集後の版面の構成等については、随時、各分野の担当編集専門委員と書面、メール等でやり取りし、最終的には、校正紙の確認のやり取りをもって編集専門委員会の了解を得た。

2. 資料調査の状況

(1) 古文書等の再整理等

- ・市内諸家所蔵文書等の再整理
- ・中島恵子氏寄贈資料の整理等
(調査員4名、調査日数延べ111日)

(2) 古文書マイクロ撮影・デジタル化委託

・コピー文書の電子化、16mm マイクロ化

1	市内社寺所蔵文書（6件分）	1,318点
2	市内諸家所蔵文書（20件分）	324点
3	市外寺院所蔵文書（2件分）	83点

※市でコピーを所蔵しており、原本の所在を確認することができない文書群の保存のため。

(3) 『新泊江市史 通史編』本文執筆のための史料確認・挿図作成・割付作業等

(専門調査員7名、調査日数延べ288日)

(4) 民俗調査の実施

- ・令和3年度末刊行予定の『新泊江市史 民俗編』の執筆に向けて、担当各調査員が補足調査。
※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、協力者との対面での調査は必要最低限に止めた。
(編集専門委員1名、専門調査員・調査員7名、調査日数延べ49日)

3. 事業成果の公表

(1) 刊行物の編集・発行

- ①『新泊江市史 通史編』 A5判上製本1,020頁／700部／頒布価格2,220円

(2) 市史関連講演会及び古文書講座 開催せず

当初予定では、『新泊江市史 通史編』を令和2年10月末までに刊行する予定であり、『通史編』の刊行後に、事業成果の公表(普及・啓発)を目的とした講演会の開催を予定していた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令などにより、通史編執筆者の調査活動が制約され、原稿の提出が大幅に遅れたことなどもあり、『新泊江市史 通史編』の刊行を令和2年度末まで延期したため、刊行後に予定していた講演会などは、改めて令和3年度に実施することとした。